

がん(病気)になっても 自分らしく暮らしたい

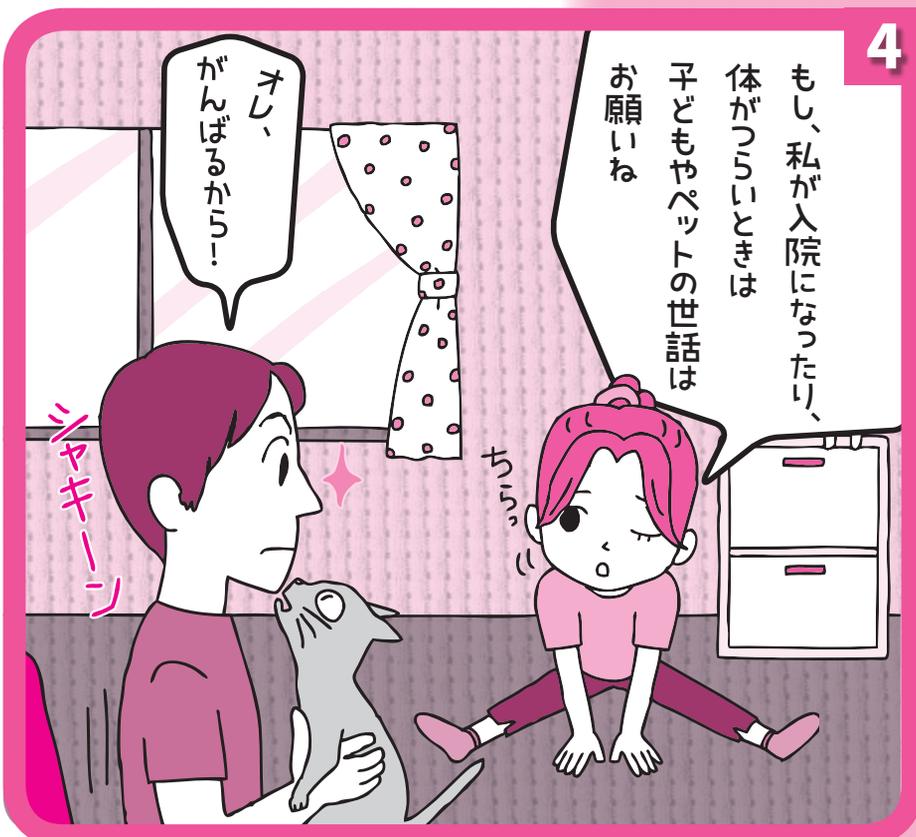


「がん」は多くの人にとって身近な病気となっています。また「がんとの共生」の時代とも言われるほどです。

とはいえ「がん」と告げられた場合には大きな衝撃を受けることでしょう。

不安でつらい気持ちを抱えた中でも「自分らしく暮らす」ためには何が必要でしょうか。

つらいときこそ、頼ってみる、相談してみる



相談

まずは相談をしましょう!



がんになって悩んでいることや、不安な気持ちはまず、信頼できる身近な人に話してみましょう。話すことで気持ちが楽になることがあります。

※LPAとは、ライフプラン・アドバイザーの略でお金やライフプランの専門知識を身につけた生協の組合員です。生活者の目線でお金やライフプランのアドバイス等を行っています。

《がん相談支援センター》を利用してみましょう。

全国のがん診療連携拠点病院などにある相談窓口です。治療だけでなく療養生活、仕事のこと、子どもへの伝え方など色々な悩みを相談できます。

【病院やがん相談支援センターを探す場合】

<https://hospdb.ganjoho.jp/kyoten/>
0570-02-3410 (ナビダイヤル) 03-6706-7797

※電話は平日10時～15時(土日祝日、年末年始を除く)



どんなことが相談できるの?

● 経済的負担のこと

治療費、生活費のために活用できる助成・支援制度などについて



● 社会との関わり

病気のことを職場にどう伝えたらいいのか
治療を続けながらの仕事はできるのか



● 家族との関わり

家族にどう話したらいいのか
学校のことはどうしたらいいのか



● 治療に関すること

がんや治療について詳しく知りたい



● 患者さんやご家族の心のこと

気持ちが落ちこんでつらい
話しを聞いてもらいたい など



がんになっても、自分らしい生活を続けている人がたくさんいます。

「仕事を続けながら」「少し休んで社会復帰」体の痛みだけではなく、心のつらさについても、緩和ケア、がん相談支援センター、患者会などで自身や家族をささえてくれる仕組みがありますので、利用してみてください。

情報

情報を集めましょう!

《がん情報サービス》

国立がん研究センターが運営しているWEBサイトです。がんの基礎知識や検査や治療、食事の疑問など様々ながんの情報を提供しています。

【情報はこちら】

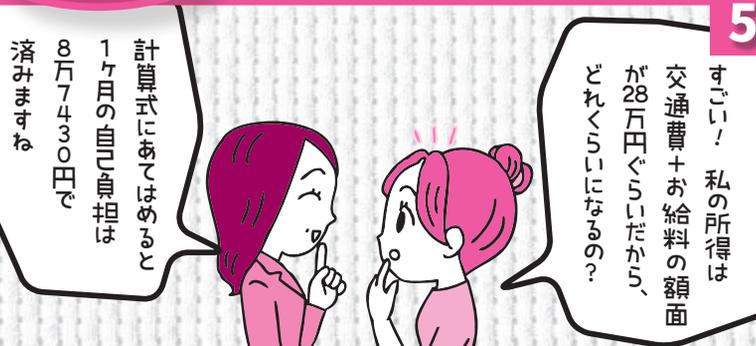
がん情報サービス <https://ganjoho.jp/>

国立がん研究センターがん対策情報センターのサイトから様々な情報が得られます。

お金のこと1

病院で支払うお金

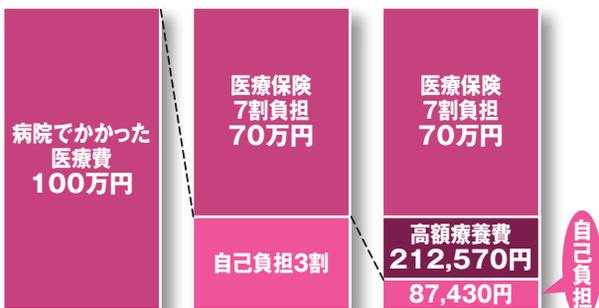
公的医療保険(健康保険)を使うと3割負担になります(年齢や年収によって異なる)。しかし、3割負担でも高額になった場合は家計を圧迫することを避けるために「高額療養費制度」があります。自己負担限度額を超える部分について申請すれば払い戻しを受けられます。また、健康保険の対象外の治療・医薬品など(全額自己負担)もあります。



《高額療養費制度》

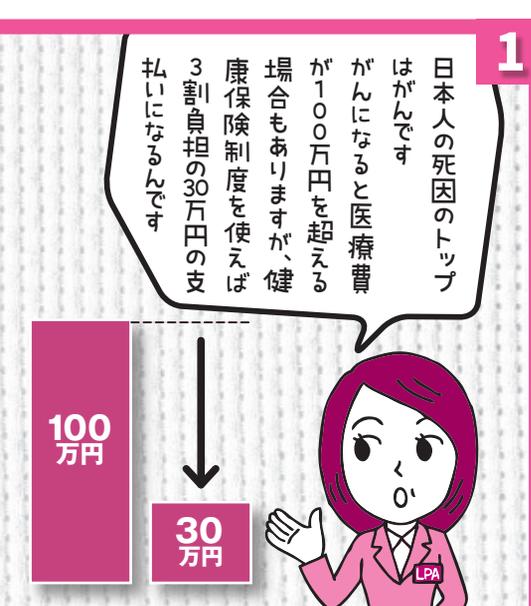
1ヶ月の医療費が一定額を超える場合には高額療養費制度が利用できます。

高額療養費制度を使った場合の自己負担(年収目安約370万円~770万円、69歳以下の場合)



*高額療養費制度が適用されないもの
差額ベッド代 入院時の食事代 先進医療の技術など

超過分の212,570円が戻ってくるのね。



お金の
こと②

病院以外でかかるお金



がんの保障に
治療開始時に受け取れる
診断給付金があると安心なのね



免疫力を高めるために
サプリメント・健康食品など



看護する
家族の費用など

日々前向きに過ごすために
どんな時にもキレイのために
ウィッグ、化粧品(無香料、刺激の少ない)など

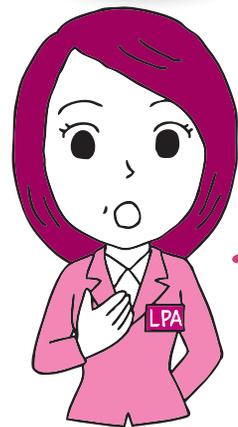


病気による症状や治療の副作用などで、治療前と同じように生活できなくなることがあります。
そのような時でも **自分らしく納得のいく生活ができる**ようにお金を準備しておくで安心ですね!
また、大きな出費に備えて、診断給付金・入院給付金の付いた私的保障も検討してみましょう。

検診

「がん」は早期に発見、適切な治療ができれば…

再発リスクは低減、治療費も抑えられます。心身の負担だけではなく経済的負担も軽くなります。



【検診は、早期発見の第一歩!】

検診とは、ある特定の病気にかかっているかどうかを診察することで、「健診」は、単に健康状態を調べることです。



。。ピンクリボン。。

ピンクリボンとは、乳がんの撲滅、検診の早期受診を啓発・推進するために行われる、世界規模のキャンペーン、もしくはそのシンボルのことをいいます。ピンクリボン運動は、アメリカの乳がんて亡くなられた患者さんの家族が「このような悲劇が繰り返されないように」との願いを込めて作ったリボンからスタートしました。

がんにも備える保障 **あいづらす**

新がん特約 **3**つのポイント

ポイント **1** がん治療共済金は2年に1回を限度として **何度でも受け取れます**

*1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。
2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。
支払回数に制限はありません。

がんの治療や検査にかかる費用の例

- 血液検査・CT・レントゲンなどの精密検査
- 入院費・手術費などの治療費
- くすり代
- 抗がん剤などの点滴費用
- 退院後の通院費 など

ポイント **2** がん入院共済金は **月額10,000円を日数無制限で受け取れます**



ポイント **3** がん通院共済金は **月額5,000円**



*5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

※詳しい保障内容は加入申込書付宣伝物をご覧ください。

CO・OP共済にご加入されると健康ダイヤルをご利用いただけます!

通話料無料

CO・OP共済健康ダイヤルのご案内

医療の専門スタッフ(看護師等)がアドバイスをいたします。

- 健康医療相談
- 医療機関案内
- 育児・食のご相談

ご注意

※CO・OP共済(たすけあい)《あいづらす》《ずっとあい》とCO・OP生命共済(あいあい)《新あいあい》の契約者および加入者の方がご利用になります。※このサービスは、専門の機関に外部委託しておりますので、共済の契約内容や手続き等にはお答えできません。※電話番号はご加入後お届けする「ご契約のしおり」に掲載しています。※サービス品質向上のため、相談内容・回答内容を録音・記録しております。※プライバシーは厳守されます。※番号非通知での相談は受けられません。

次号(秋号)テーマ

家計管理

無料 OCRでカンタン資料請求

●各保障商品の詳しい資料を希望の方は、各商品の資料請求番号をOCR注文書の6ケタ注文らんにご記入ください。後日ご登録住所へ郵送、またはお届けさせていただきます。

商品名	共済	《たすけあい》	《あいづらす》	プラチナ85	《ずっとあい》	《火災共済》
資料請求番号		298077	298085	298115	298239	298123

記入例

298077-1

数量